

いしだ便り

第 8 号

2014年10月14日発行

発行 石田ふるさと振興会

編集 総務広報委員会



仮設焼却炉の状況

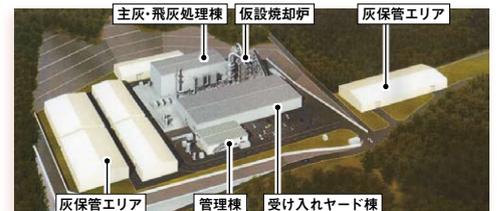
九月一日 伊達地方衛生処理組合に行き、仮設焼却炉について現在の状況（現場、日程）など、衛生処理組合事務局長 遠藤直三さん、総務課長佐藤高広さんが面会に応じてくれました。前回の地区住民の説明会の後、どのような状況なのか、聞き取りに足を運びました。

現在の工事について、現時点は遅れているところです。七月八月にかけて雨が多く敷地内を整地するのに時間がかかった。やっと基礎が出来て骨組みをしているところ、期日までにはできる様にしていくとのことでした。

七月八日に安全祈願祭と起工式がおこなわれた。その時に民報社 民友社が来て新聞の掲載もありました。内容は一つ目、伊達地区の除染で生じた放射性物質を焼却処分する。二つ目、仁志



田市長のあいさつがありました。『環境回復に大きな役割を果たす。』この内容の文面について掲載されました。地区の住民は今後どのように展開していく



のわからないようです。また、施設の恩恵で何ができるのか組合の方に問い合わせをしたら、霊山開発などの事業をしていきたいのとです。運転が始まると当然雇用が出てきます。地区住民の雇用も考えていますので宜しくお願いします。

最後に組合からは地域の人たちに感謝をしております。安全第一最新の技術で実施していきます。

以上のご面談をさせていただきました。これからも見守りをしながら状況把握をして参ります。

募集要項について

九月二五日、交流館にて募集要項について説明会がありました。JFEエンジニアリング株式会社 福島再生プロジェクトチーム。

- 1、受入・前処理 5名 (JFE 環境 (株))
- 2、焼却処理 14名 (JFE 環境サービス (株))
- 3、施設管理 8名 (株) シムックス

※詳細については各会社にお問い合わせ

担当 佐々木

「大正二年の石田川氾濫」

広島県の災害をはじめ所どころの地域で発生しました。石田でも何年か前災害が起こりました。今回はその前の災害を聞きました。

八月二七日、石戸駐在所にて慰霊式が行われた。災害は小学校向かいの山が崩れ、川を堰き止め溢れた水が堤防を決壊、中瀬全域、下屋敷を通り岩崎前を抜け石田川に合流したとのことです。その後アイオン台風、平成元年の台風一三号と二回も氾濫した。あれから九十九年現在は堤防も整備され、心配のない石田川です。災害はいつ来てもおかしくない時代になりました。心の準備をして生活をしていきたいものです。

石田の宝特集 4 延命地藏尊坂の上

石田には、由緒ある鈴嶽神社をはじめ各方面にたくさんのお神様や祠・石仏等があります。先人達が色々な願いを込めてその場所に安置し祈りを捧げてきました。その調査を始めたところ傷んでいる建物やすでに朽ちてしまった祠もあるそうです。集落のコミュニケーション、まとまりを作る大切な場所をもう一度考えてはいかがでしょうか。





ハッピーを着て
踊ってくれました



ふるさとバスツアー
の出迎えセレモニー



太鼓の担当 中組



激しいダンス
石田の力



お姉ちゃんが
教えてくれました

2014 / 8 / 15 第2回 石田ふるさと夏祭り

ふるさと夏祭りが盛会に行われました。大勢の方に参加していただき、盆踊りの輪も昨年より一回り大きくなりました。花火大会も予想以上に盛大なもので、今年見ていない方は来年は是非参加していただきたいと思います。



ストリートシンガー
あんちゃん



お祭りの雰囲気



石田東部
太鼓保存会

霊山太鼓で
お出迎え



伊達市 ホームページ
ケーブルテレビ
八月二十九日 放送分
地域自治組織づくり
見てください。

総務広報委員会

※各行政区にお願いがあります。集落座談会を翌年一月から三月の間に開催を致しますので、日程の調整をお願いします。

集落座談会（地域の人たちの意見や話を振興会の事務局との懇談会です。）ぜひともその際に参加をしていきたいものです。

健幸福社委員会

健幸福社委員会では、特に二つの活動に力を入れていきます。最近の「石田っこクラブ」の活動では石田の子ども達だけでなく、石田のおばあちゃん、おじいちゃんの所に遊びに来ていろいろお孫さんなどの参加も増えてきていて、いろいろな年齢の子ども達と一緒に遊んでいるのを見ると、とても素晴らしいことだなと思っています。また、目指せNo.1健幸石田地区では、二本松の吉井先生をお迎えして「快フィットネス講座」と題して、誰にでも気軽に出来るストレッチ体操を教えてくださいました。先生の軽妙な言葉に引き込まれ笑いのたえない講座でした。



快フィットネス研究所
所長 吉井雅彦氏



地域活性化委員会

お盆の夏祭りの時には昨年と同じく売店出店を担当させていただきました。雨の降る心配もありましたが、皆様のおかげでにぎやかに終わることが出来ました。ありがとうございました。

十一月九日（日）には、霊山清掃登山を計画しております。下山後には美味しい、いも煮を振る舞いますので是非参加して頂くようお願いいたします。

環境防災委員会

今年も昨年に引き続き石田の花「春は水仙、秋は彼岸花」の植栽を約八〇名の方のご協力を得て実施いたしました。彼岸花は鹿ノ入川向の古屋敷の棚田に三二〇球、谷田岸の中川に至る水田の法面に五〇〇球大小の水田法面に一〇〇球、水仙は根古屋遺跡と根古屋公園花壇とその周辺に、あとは宮下地区石田川の管理道法面に合計一三〇〇球を植付けました。終了後は石戸地区交流館において、おいしいカレーライスをいただき、なごやかに親睦を深めあい大変意義あるひとときを過ごすことが出来たと思います。皆様のご協力に感謝いたします。また、来年も植栽を予定しておりますので、ご協力よろしくお願い致します。



★第3回石田ふるさと祭り★

「第3回石田ふるさと祭り」を次のとおり開催いたしますので、多くの皆様のご来場をお待ちします。

日時：十一月三十日（日） 十一時から十四時 三十分まで

場所：石田小学校 体育館

内容：芸能発表・作品展示・バザー・芋煮会

特別出演：伊達市消防団ラッパ隊

※後日、プログラムを全戸に配布します。

◆もったいないバザー

バザー出品にご協力をお願いします。ご家庭でねむっているもので「もったいない」な〜と思うもの。例えば、贈答品、お茶、海苔、石鹼、タオル、なべ、手工芸品等何でも結構です。なるべく未使用品をお願いします。（※学生服等は使用済みのものでも構いません）

ご協力いただける方は、十一月二十日までに石戸地区交流館までご持参願います。

バザーの収益は「石田ふるさと子ども基金」として子どもたちの健全育成のために活用します。

作品展出品募集

今年も石田の皆さんの力作が勢ぞろい！出品募集中！

手芸品、絵画、盆栽…何でも結構です。十一月二十日までに石戸地区交流館に申込んでください。（搬入は十一月二十七日まで）

名目沢の氷小屋



日本における冷蔵庫の歴史は古く、昭和初期には国産第一号が誕生してありました。冷蔵庫が一般家庭に広く普及する時代を向えたのは昭和五十年代で、それまでは、一般家庭が氷を日常入手するのは大変な時代で、冬期間に水を沼等に張り、氷を作り切り出し、むろに保管し、氷の無い時期に使用してありました。そんな時代名目沢の菅野芳男さんの先祖が明治から昭和二六年頃まで、名目沢御戸内林道入り口界隈の名目沢川側の沼（四から五ヶ所）で冬期間に沼に水を張り五十cm位の厚さの氷を切り出し、石室に保管し年間を通し販売をしていました。当時は福島市や桑折町から馬車で業者が氷を買いに来たそうです。今では沼で氷を切り出し利用するなど想像つきませんが、当時はかなり寒かったのです。現在は温暖化の影響で当地も当時と比較すると、かなり暖かくなったのだと思います。



★ヤングアメリカンズ

ヤングアメリカンズ、石田小学校全校児童二十名と六名の先生、保護者十六名でひとつのショーを作り上げました。

物事をみんなで成し遂げるってなんか楽しい。そのときに、先生も子どももない。同じ人間。



JAフレッシュミズ

現在八名の会員で、ハンドメイドの小物や手芸を楽しんでいます。今年度はクラフトテープでかご編みをしています。結構、実用的で評判ですヨ。月一回から二回の活動です。手芸等に興味ある方は、お気軽に声をかけて下さい。大歓迎ですヨ。



廃品回収にご協力を

石田育成会では廃品回収を十二月に予定をしております。地域の皆様のご協力を願います。

駐在所からなりすまし詐欺被害防止



おじいちゃん おばあちゃん 気を付けて！
高齢者の被害が多く発生しています。なりすまし詐欺は、まず自宅へ電話がかかってくる。パンフレットが送られてくるのがほとんどです。

- 一、知らない番号からの着信は、電話に出ない。
- 二、昼間お一人になる方は、留守番電話に設定する。
- 三、電話番号が変わった方は、元の番号に電話してみる。
- 四、心当たりのない郵便は、必ず周囲に相談する。
- 五、電話での現金要求は、直ぐに警察へ相談する。

※なりすまし詐欺のほか、高配当などと利益をうたつての勧誘、悪質な訪問販売、注文していない商品を送りつけて代金を請求するといった悪質商法等もありますので、ご注意ください。

県警広報から抜粋

暮らし茶屋『風知草』オープン!!

はじめまして、小国地区からお邪魔します。この度石田地区の方々との協力を得ながら、餅・おこわのお膳料理のお店を開店いたしました。コーヒーだけでも構いませんので一度お立ち寄り下さい。

樋口 高志



暮らし茶屋 風知草・霊山町上小国字柏平五二番地
 土・日・祝 十二時～十四時三〇分（平日はお電話にて予約承ります）
 ☎〇八〇―五五六三―四〇五二

◆地域おこし支援員のお知らせ◆

石田地区に出会い、石田の人に触れ、支えられ、共に歩むことの出来た三年間でした。

私も十一月からは、石田地区住民としての生活が始まります。これからも石田に住む人が石田を好きで、楽しく暮らしたいけるようなきつかけづくりが出来たらと思っています。

本当に三年間ありがとうございました。支援員を卒業します！
菅野 照

編集後記

日本では江戸時代まで「ゼロ」の概念がなかったため、「丑の刻」「巳の刻」のように一日を二進法に基つき分割してありました。年齢も一歳、翌年の正月になると二歳と「数え年」で表していたもの「ゼロ」の概念がなかったことが要因ではないかと考えております。今年もお盆を迎え、石田ふるさと振興会夏祭りが行われ、多くの皆様のご協力で無事終了することが出来ました。故郷を離れ生活をしている皆様にも、故郷のお祭りに参加し良い思い出となれば幸いです。（菅野清夫）

